

2024 年度 日本看護科学学会若手の会主催

第 2 回北海道エリア検討会

2024 年 12 月 14 日 10:30~12:00、日本看護科学学会若手の会主催「第 2 回北海道エリア検討会」を、会場とオンラインのハイブリッドにて開催しました。今回は、2 年ぶりの開催であり、「それぞれの研究活動 海外での経験×研究の悩み」をテーマとし、北海道地方の若手研究者の交流によりネットワークを構築する、日々の教育・実践活動と研究活動に関する課題や工夫を共有することを目的に開催しました。全道から会場 6 名、オンライン 1 名（エリア・コーディネーター含む）の方々にご参加いただきました。

札幌市立大学看護学部の檜山明子先生から、海外で行う研究活動において、きっかけから事前準備の重要性、費用面、滞在中の生活状況など詳細にお話しいただきました。その後の意見交換では、今後海外での研究活動を行う上で、重要となる心構えについてもお話しいただき、大変有意義な情報共有の場となりました。

札幌医科大学保健医療学部の石貫智裕先生から、日頃の研究活動における悩みの共有があり、若手研究者同士で、研究のテーマ選定や学生指導などについて、非常に活発な情報共有が行われました。

検討会の終了時には、今後の共同研究の話も進み、開催目的が達成されました。

終了後のアンケートでも、全ての方に「大変満足」、「大変役に立った」、「また参加したい」とご回答いただき、成功裏に終了いたしました。

今後は、北海道地方の若手研究者の更なるネットワークづくり、共同研究の推進などを目的として、開催頻度についても検討していきたいと思っております。



北海道エリアコーディネーター：

札幌市立大学看護学部 檜山 明子

アーク訪問看護ステーション 黒木 慎一